

## 飯南町の状況(人口)について

資料2

### ○国勢調査からみる飯南町の人口

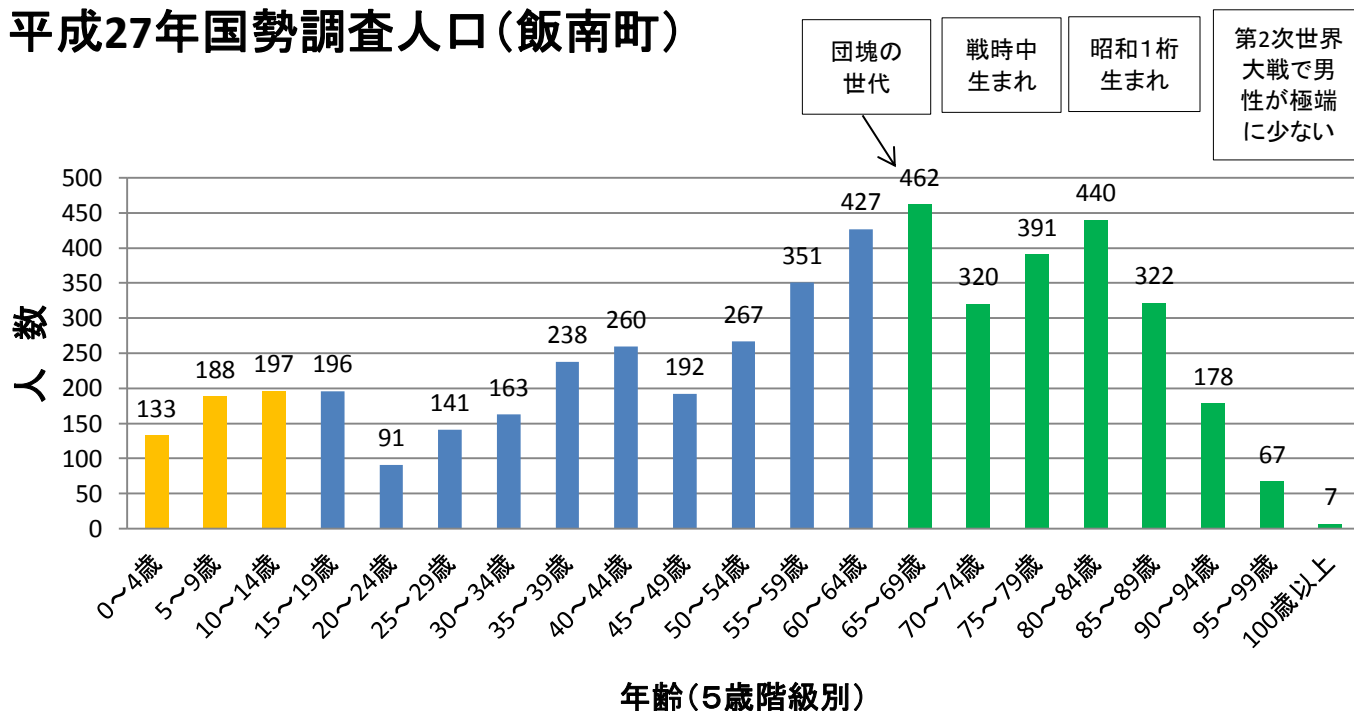
・島根県の人口

		総数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	75歳以上	備考
						75歳以上	
島根県	平成22年(2010)	717,397	92,218	414,153	207,398	118,736	総数は年齢不詳含む 総数は年齢不詳含む
	平成27年(2015)	694,352	86,056	376,877	222,648	121,398	
平成22年との差		▲ 23,045	▲ 6,162	▲ 37,276	15,250	2,662	
増減率		-3.2%	-6.7%	-9.0%	7.4%	2.2%	

・飯南町の人口

		総数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	75歳以上	備考
						75歳以上	
飯南町	平成22年(2010)	5,534	577	2,777	2,180	1,408	
	平成27年(2015)	5,031	518	2,326	2,187	1,405	
平成22年との差		▲ 503	▲ 59	▲ 451	7	▲ 3	
増減率		-9.1%	-10.2%	-16.2%	0.3%	-0.2%	

### 平成27年国勢調査人口(飯南町)



### ○人口の推移

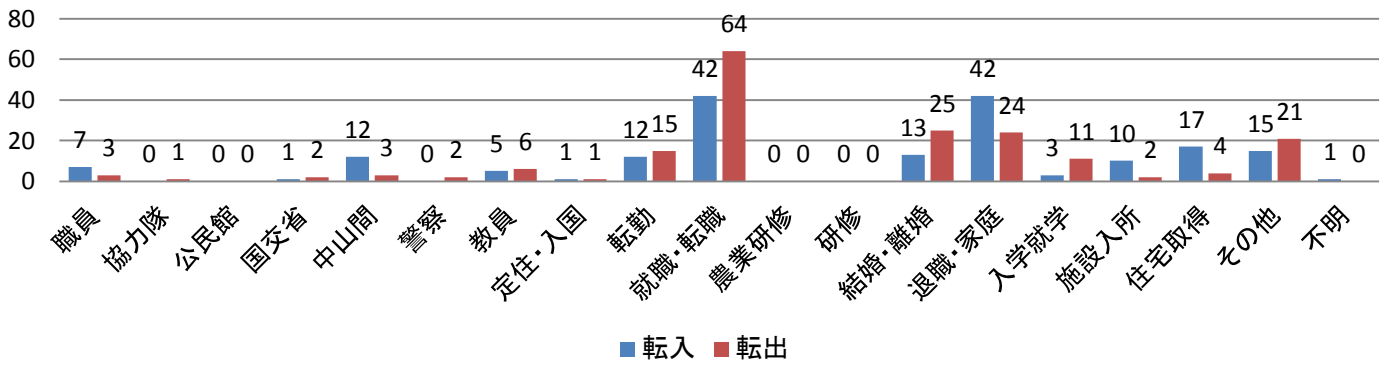
・人口問題研究所推計値

	総数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	75歳以上	備考
					75歳以上	
平成32年(2020)	4,643	467	2,078	2,098	1,270	
平成37年(2025)	4,235	413	1,861	1,961	1,263	
平成42年(2030)	3,871	379	1,705	1,787	1,240	

・総合戦略における人口の将来展望

	総数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	75歳以上	備考
					75歳以上	
平成32年(2020)	4,875	536	2,212	2,127	1,284	
平成37年(2025)	4,593	549	2,044	2,001	1,288	
平成42年(2030)	4,355	569	1,949	1,837	1,272	

## 平成28年度 転入転出理由 (転入187人・転出187人)



### 【データから見る人口の状況や対策等(考察)】

#### ○年少人口(0～14歳)

年少人口では、0～9歳が次回の調査で5～14歳となる。人口は321人。H27は35名の出生のため、合計すると356人。「総合戦略における人口展望」の536人には、2020年までに180人出生となり、年間45人以上の出生・転入で到達する。

#### ○生産年齢人口(15～64歳)

生産年齢人口は、島根県と比べても減少率が高い(島根県:▲9.0%、飯南町:▲16.2%)。特に20～35歳の人口が少なく、町外・県外への就職・転職が中心となり、22人の転出超過である。また結婚・離婚でも12人の転出超過となり、これらを理由にした社会減が続くと5年間で約170人減少し、2020年に2,156人、「総合戦略における人口の将来展望」より▲56人少ない状況で推移する。

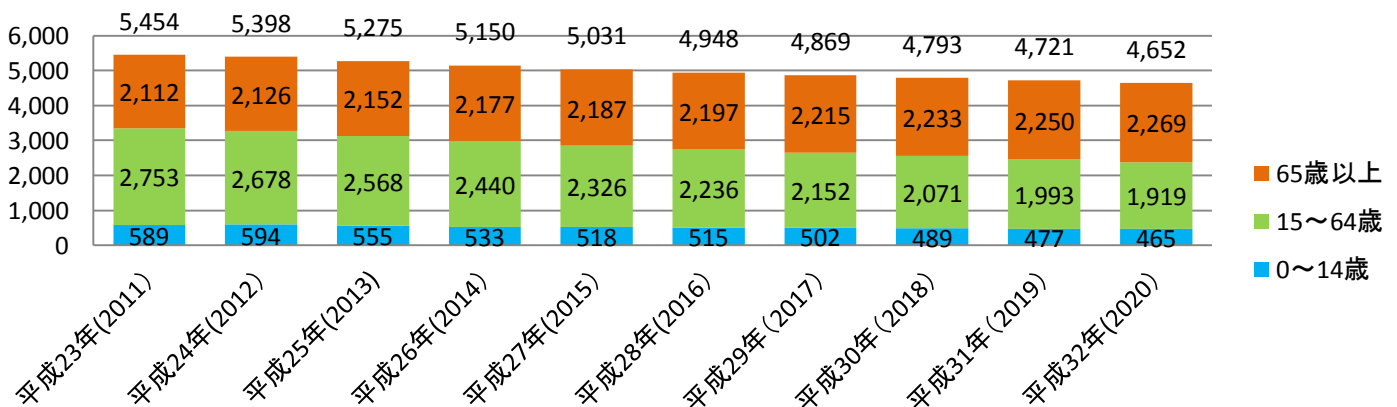
厚労省データ(H28)では、広島県(大卒)初任給198,200円、島根県(大卒)初任給187,500円、飯南町(H29. 6時点)の求人票での平均賃金は182,000円。広島県・島根県と比べて低い状況だが、支出の少ない飯南町での生活であれば都市部と比べて残額は多いと思われる。当町の有効求人倍率は2倍を超え(H29. 4時点)ており、職種は少ないものの、職が無い状況ではない。当町での暮らし方を若い世代に伝える対策が求められる。

また、子育て世代でもあり、経済循環が大きい世代でもある。子育て支援の維持・拡大と、町内就職を進めるほか、起業支援などの対策を講じて、若い世代の定着を図る必要がある。

#### ○高齢者(65歳以上)

団塊世代が高齢者世代に突入した。そのため、大きな人口減少はない。2020年の調査時では、第2次世界大戦で大きく減少している90歳以上をカバーする以上に、団塊の世代と次の世代も人口が多く、2020年までは大きな減少は無いと思われる。

## 国勢調査人口推計を参考にした人口の推移



※H23-H28は国勢調査推計人口(島根県統計調査データ)を参考

※H29-H32は、H27-H28の減少率を参考に算出